

2021年卒  
Vol.7

## 5月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活2021 学生モニター調査結果 (2020年5月発行)

企業の採用広報開始から2カ月。学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、5割を超える高水準ながらも、コロナショックが深刻さを増す中でペースダウンしたことがわかった。内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

### 1. 5月1日時点の内定状況

○内定率は5割を超える高水準をマーク (50.2%)。但し、内定取得のペースは鈍化

### 2. 選考試験受験状況

○ES提出社数は平均13.1社。筆記9.0社、面接5.9社。いずれも前年同期を上回る  
○面接のオンライン化が進んだことで、WEB面接の経験を持つ学生が全体の7割強に (72.6%)

### 3. コロナ禍での不安と、就職環境の変化

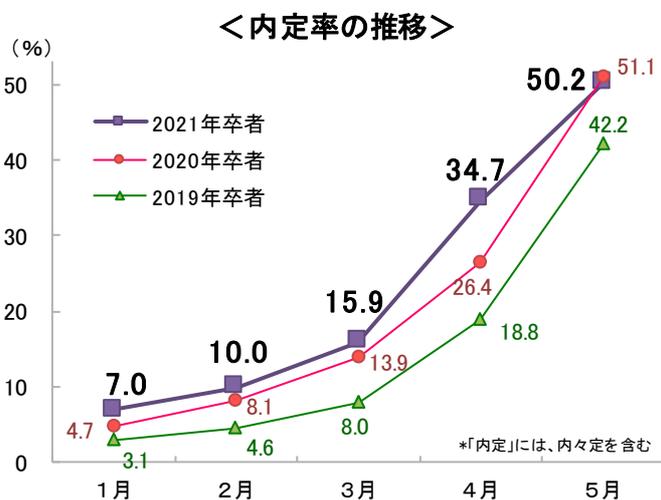
○「採用数減少への不安」73.0%。「売り手市場から買い手市場に変化してきている」70.2%

### 1. 5月1日時点の内定状況

5月1日の調査時点で内定を得ている学生は全体の50.2%で、5割を超える高水準だった。ただ、先月(4月)調査では前年実績を大きく上回っていたのが、今回は前年(51.1%)をやや下回る数字となった。外出自粛で対面での活動が大きく制限される中、内定出しのペースが鈍化した様子が表れている。

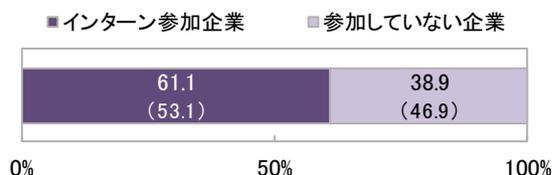
内定を得た企業の内訳を見ると、インターンシップに参加した企業の比率が前年よりも高まっており(53.1%→61.1%)、3月以降の母集団形成が困難な企業において、インターンシップ参加者に対し優先的に選考を進める動きが強まったことが想像できる。

内定率は5割を超えるものの、内定取得学生の大半が就職活動を継続していると回答。未内定者とあわせて全体の約8割が活動中だ。内定の有無によらず多くの学生にとって、やはり6月が正念場になりそうだ。



※各月1日時点

### ＜内定を得た企業の内訳＞

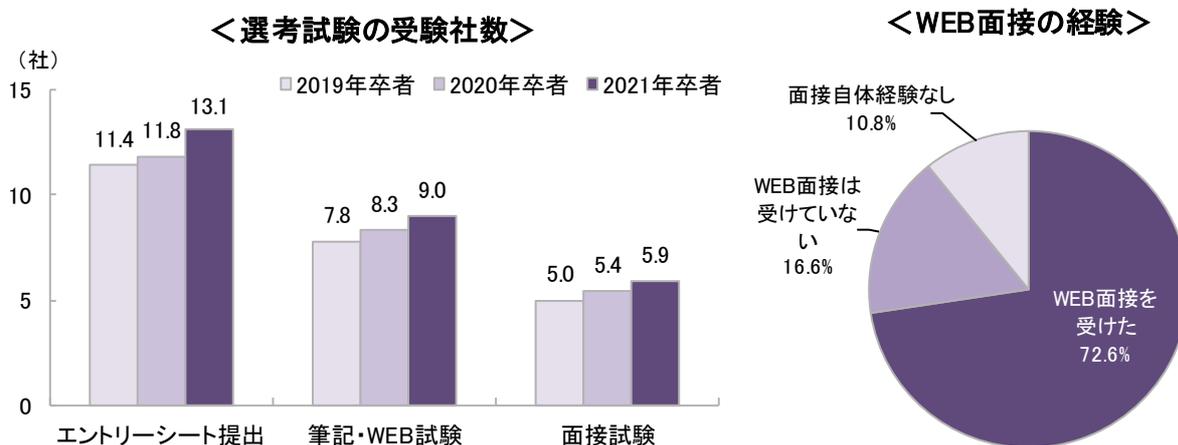


### ＜活動状況の分布＞



## 2. 選考試験受験状況

内定率は前年実績を割り込むものの、選考試験の社数は前年同期よりも多く、ES提出社数、筆記試験、面接試験のいずれもが前年同期実績を上回っている。緊急事態宣言を受けて選考のオンライン化が進み、全体の7割強（72.6%）がWEB面接の経験があると回答。コロナ禍の収束時期が見えない中で、最終面接をオンラインで実施する動きも増え、今後の内定率にも影響が出そうだ。

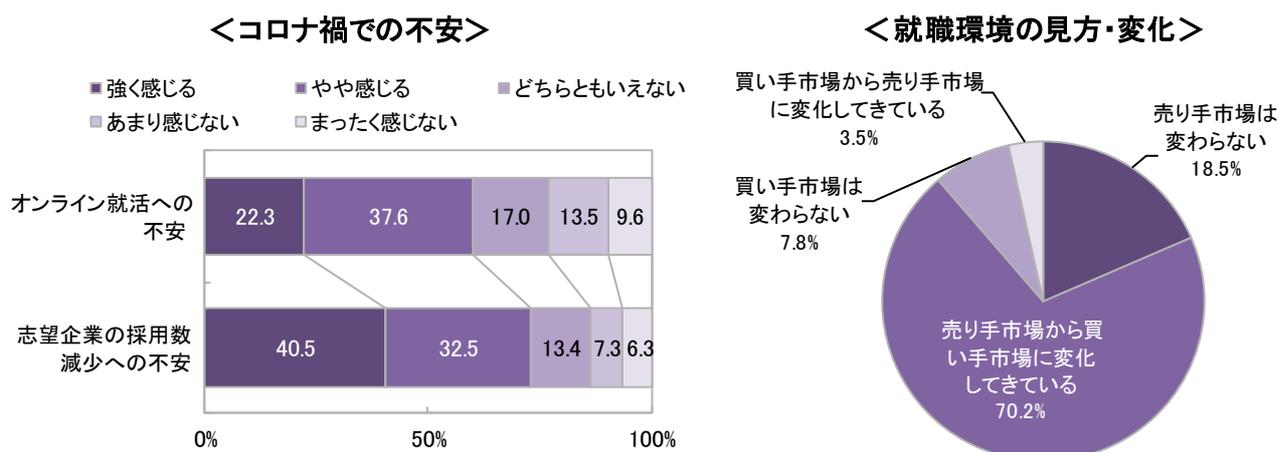


※それぞれ受験者を分母に平均社数を算出。面接試験にはWEB面接を含む

## 3. コロナ禍での不安と、就職環境の変化

コロナ禍での就職活動にどのような不安を感じているのかを尋ねた。急速に進む「オンライン就活」に対しては約6割が不安を感じると回答（計59.9%）。「採用数減少」への不安はさらに多く、7割強に上った（計73.0%）。とりわけ「強く感じる」の割合が4割を超えている。コロナショックで業績が悪化し、採用数が絞られるのではないかと不安が学生の間広がっていることが読み取れる。

就職環境の見方についても、「売り手市場から買い手市場に変化してきている」が7割に及んでいる。



## 調査概要

- 調査対象：2021年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,212人（文系男子387人、文系女子362人、理系男子339人、理系女子124人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2020年5月1日～6日
- サンプリング：キャリアス就活2021学生モニター